つつじが丘小学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

・当校は，問題解決の資質や能力を育てることを生活科や総合的な学習の時間のねらいの一つと位置づけ，そのなかで，ＥＳＤによって「地域の人々・文化・自然に対する目を広げる」ことを目標とし，実践を通して地域に愛着をもち，地域を愛する心の育成を目ざしている。

・地域の「ひと・こと・もの」を教材として取り上げ，そこから生まれた疑問や願いなどを追究していくことで，切実感をもち，追究意欲を継続できると考えた。

・活動の実際

○３年総合的な学習の時間　「変身！大豆くん」

校区にある豆菓子屋さんを招き，豆菓子の作り方や材料となる豆を世界中から購入していることなどを説明していただいた。また，実際に工場で作っている豆菓子に触れ，その種類の多さに驚いているようであった。

これまで自分たちが抱いていた「豆」へのイメージを覆されたことで，豆に対する興味や疑問を抱いた子どもたちは，『世界の豆料理』や『食べられている豆の種類』など自分でテーマを定め，調べ学習を進め，まとめた。

また，学校園で実際に枝豆を育て，収穫し，調理したものを食べる活動も行った。校区は畑が少なく，農作物を収穫する経験がほとんどない子どもたちにとって貴重な経験となったようである。

どんな豆を使っているのかな

○１年生活科　「あきみっけ！あきでなにつくる？」

季節の変化を全身で感じられるよう，子どもたちは校内，そして近くの公園へと秋探しに出かけた。そこで見つけた松ぼっくりや落ち葉，どんぐりなどを使って自分たちで考えた遊びを楽しんだ。その中でも，どんぐりごま作りに熱中した子どもたちは，どうすればよりよく回るこまになるのかを，友達と協力しながら考え，何度も試行錯誤を繰り返し，改良していった。

秋をたくさん見つけたよ

○４年総合的な学習の時間「つつじ生き物探検隊」

小学校の校内には，めだかや植物が生息する観察池が存在する。理科の授業でその池の観察や校内の生き物探しをした子どもたちは，他の生き物や植物についても興味をもち，校区にある佐藤公園や幸公園でも調べていくこととした。身のまわりの自然を改めて調べ，想像以上に多くの種類の生き物がいることに気づくことができた。そして，その自然を守っていくために，自分たちのできることとして，公園のごみ拾いや，発表会で地域の人や保護者に伝える活動を行った。

公園のごみ拾いをしたよ